

特集

もっと自由に、もっと深く。

進化する金沢大学の 「3学域・16学類」

入学から卒業までの6つのポイント
人間社会学域/理工学域/医薬保健学域



金沢大学広報誌「アカンサス」No.9 2007 SUMMER

発行日 2007年8月11日
発行 金沢大学広報課 〒920-1192 金沢市角間町 TEL:076)264-5024 koho@ad.kanazawa-u.ac.jp
広報誌「アカンサス」の配布を希望される同窓会には有償で増刷いたしますので、所要数をご連絡ください。

R70

EVENT CALENDAR

イベントカレンダー

★サークルのイベント ()は開催場所です。
*マークは金沢大学サテライト・プラザで開催します。
特に明記がないものは、金沢大学角間キャンパスで開催します。

金沢MOT塾

9/27より毎週木曜日開講「ニュービジネス創造論」
10/5より毎週金曜日開講「地域ビジネス論」
[詳細情報] <http://www.t.kanazawa-u.ac.jp/mot/>

公開講座

8/27,28「教員のための手話講座 中級」
8/27,29,30,31「心と体の健康」*
9/1,8,15,22,29「生活の中で脳と手はどうかはたらくの」*
9/4,11,18「薬局見学・体験ツアー」(NPOアカンサス薬局ほか)
9/22,29「地球環境保全を目指す工学的対応について」*
10/3,10,17,24,31「福祉の現状と行方：国際的視野で日本の問題を考える」*
10/20,11/3,17「美術へのいざない(XVI)―フレスコ画の制作―」
11/10「ナノサイエンスへの招待」*
11/17「百万石の城下町―その生活と風景―」*
11/24,12/1,8「クスリ」*
[詳細情報] http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/kaiho_c/kouza.htm

8月 August

7 → ひらめき☆ときめきサイエンス
8~9 → オープンキャンパス
9~10 → 金沢大学理学の広場
―夏休み高校生のための理学体験セミナー―
11 → ライブアイド金沢 救命法&AED使用法講習会
(ルネスかなざわ)*
13~15 → 夏季一斉休業
23~24 → いしかわ金沢子ども体験塾(「角間の里」ほか)
25 → ミニ講演「X線で探る熱い宇宙」*

9月 September

1 → 資料館ミニ講演
「絵巻書と鳥瞰図に見る関東大震災」*

9月 September

12~14 → イノベーション・ジャパン2007(東京国際フォーラム)
13 → オープンスクール(附属中学校)
15 → がん研究所 県民公開セミナー(県教育会館)
22~23 → 国際シンポジウム「新時代における知的財産権の発展とその対応策の検討」
(金沢市文化ホール)
28 → 9月期学位記・修了証書授与式

10月 October

1~27 → アスレチックトレーナー部
トレーナーブース開設*
15~11/16 → 資料館特別展
「教える×学ぶ」―いしかわの師範学校―
25~26 → 文化祭(附属中学校)
29 → 資料館・附属図書館シンポジウム
「金沢大学3学域化と総合大学の教員養成の新機軸」

11月 November

2 → 「いしかわ金沢学」秋コース
2~4 → 金大祭
3 → ひらめき☆ときめきサイエンス
3 → ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー
3 → ものづくり教室
9 → 第2回国際科学実験センターシンポジウム
(医学部十全講堂)
15~16 → 教育研究発表会(附属小学校)
26 → オープンスクール(附属中学校)
30 → がん研究所創立40周年行事(医学部記念館)

12月 December

初旬 → 「いしかわ金沢学」冬コース
5~14 → 理学部・資料館共催展
「湯川秀樹・朝永振一郎生誕百年記念企画展」
8 → マンドリンクラブ定期演奏会(石川県教会館)*
8 → 竹糸会 定期演奏会(石川県教育会館)*
8,15 → 児童くらぶひこうせん クリスマス公演*
15 → モダンジャズソサエティ定期演奏会
(ラフ片町7階アートシアターいしかわ)*
22 → 吹奏楽団 定期演奏会(金沢歌劇座)*
22 → 軽音部 お城のコンサート(金沢AZホール)*
22 → 琴尺八部 邦楽演奏会(石川県教会館)*
→ 児童文化部 クリスマス公演*(日程、開催場所未定)

11月 2~4日 第44回 金大祭

3日 ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー

たくさんの模擬店、サークル発表が楽しい「金大祭」。理工のオープンキャンパス「ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー」。金沢大学「秋の祭典」にぜひお越しください!



携帯サイトも開設!

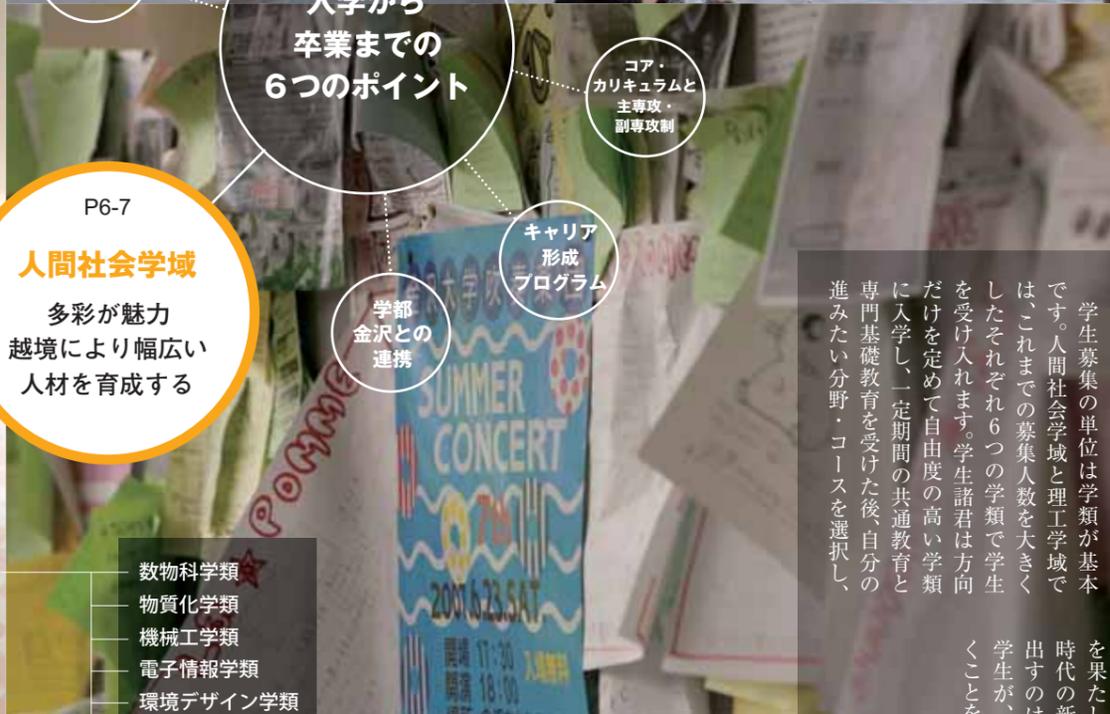


<http://daigaku.jc.jp/kanazawa-u/>



【表紙写真】
古代ギリシア・ローマに由来する植物で、和名を葉薊(ハアザミ)という。金沢大学校章のモチーフになっていることから、キャンパス内施設に名称が用いられるなど、長年にわたり学生や教職員に親しまれている。

【編集後記】
今号では2008年4月に大きく変わる金沢大学を紹介しました。これほど大きな変化は、開学以来、初めてのこと。今日よりも明日へ、「進化する」金沢大学でありたいと日々、思っています。
そして、金沢大学が総力をあげて研究・支援に取り組んでいる能登半島地震。1日も早い復興を願うばかりです。



特集 | もっと自由に,もっと深く。

進化する金沢大学の「3学域・16学類」

学部学科が変わって、平成20年度からスタートする新教育組織「3学域・16学類」。その学問領域とは、カテゴリーとは、いったいどのようなものなのでしょうか？そして、学生たちの学び方は、これからはどのように変わっていくのでしょうか？各学域準備室長へのインタビューや分析をまじえながら、その全容を紹介します。



- 人文学類
- 法学類
- 経済学類
- 学校教育学類
- 地域創造学類
- 国際学類

P6-7
人間社会学域
 多彩が魅力
 越境により幅広い
 人材を育成する

P8-9
理工学域
 理学と工学の融合が、
 科学技術の
 未来をひらく

- 数物科学類
- 物質化学類
- 機械工学類
- 電子情報学類
- 環境デザイン学類
- 自然システム学類

P10-11
医薬保健学域
 連携が生むリーダー
 シップと思いやりの
 全人的医療

- 医学類
- 薬学類
- 創薬科学類
- 保健学類

金沢から世界に向けて新風を
—— 学生とともに歩む新生・金沢大学 ——

地球規模の課題が一段と深刻化し、国際化・情報化が進む21世紀にあって、日本の大学は今大きく変わろうとしています。複雑で高度な問題の解決には、個々の専門の枠組みを超えた幅広い知識とともに、課題探求能力、国際通用性、倫理感などが必要であり、人材育成と知の創造を預かる大学には、これに相應る体制の整備が問われているからです。

金沢大学は「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」を大学憲章に掲げています。学部の壁を取り払い、現在の8学部25学科を3つの学域と16の学類に再編する改革は、この目標に向けた組織・制度の整備であり、基礎に根ざしながらも新しさを取り込むことで、社会の要請と学生のニーズにこたえようとするものです。国際学類、地域創造学類、自然システム学類は新設の学類ですが、その他の学類でも新しい分野がコースとして準備されています。

副専攻制度などを活用しながらキャリアを形成していくことになり。医薬保健学域の4学類はもともと専門性が強いので、入学時に進路が決められることになり。ですが、コメディカルを基軸とした相互連携のカリキュラムの学びのもとで、質の高い医療従事者が養成されることでしょう。

「新風文化の扉は開かれ」は金沢大学の校歌の一節です。本学はこれまで、北陸そして東アジアのアカデミアの拠点としての役割を果たしてきましたが、21世紀の時代の新風を起し、文化を創り出すのは学生たちです。意欲ある学生が、新生金沢大学の扉をたたくことを期待しています。

金沢大学長
林 勇二郎
HAYASHI Yujiro





地域創造学類の地域プランニングコースでは、その地域の歴史や文化をひもといていく。

学びの舞台が進化する！ 入学から卒業までの 6つのポイント

Point 01 「学類」への入学
金沢大学では、まず入試が変わります。
これまでは「文学部・人間学科で心理学を専攻する」のように、受験先を決める段階で、専門をある程度決定する必要がありました。たとえば「文学にも興味がある」学生であっても、迷いながら受験先を決める必要があったのです。
しかし、これからの入試は「人間社会学域・人文学類を受験する」へ変わります。学類は多様な専門分野の集合体。人文学類であれば、その後、心理学を学ぶことも文学を学ぶことも自在なのです。



Point 02 経過選択制
心理学か文学か。入学時に決まらなかった進路は、大学に入ってから決定することになります。
その選択の前に、大学のカリキュラムの中で、様々な分野の基礎を1年間しっかりと学んだうえで専門の決定を行うシステムが「経過選択制」です。
たとえば人文学類の基礎を1年間学ぶことによって、心理学でも文学でもなく、歴史学に興味を持つようになるかもしれません。
このように、金沢大学では、学問の本質を知り、本当に学びたい分野を自分で選ぶことができます。



Point 03 新しい学問が誕生
学部・学科が、学域・学類に再編され、金沢大学に新しい学問と教育の単位も誕生しました。
人間社会学域には地域創造学類と国際学類が、理工学域には自然システム学類が誕生。そして医療保健学域では、コメディカル教育が導入されます。
*詳細は学域のページをご覧ください。

ただし、専門性の高い職業人を養成する医学類、保健学類には経過選択制はありません。また、薬学類と創薬科学類は3年後期に進む学類を選択します。

専門を極めたい学生は大学院へ。5つの研究科が待っています。社会へ羽ばたく学生は就職支援室が支援！



Point 04 コア・カリキュラムと主専攻・副専攻制
学生に専門領域の基礎をしっかりと身につけてもらうために金沢大学ではそれぞれの学類やコース、専攻の必須科目を集めて「コア・カリキュラム」を作りました。
たとえば心理学コースのコア・カリキュラムがA、B、Cの3つだったとします。すると、それらを履修した学生は、心理学コースの基礎を基本的にはマスターしたことになります。
また、複数の分野に興味を持った場合には、他の学類・コースのカリキュラムをある程度までとめて学ぶこともできます。これが「主専攻・副専攻制」です。
心理学を主専攻として学びつつ、心と言語の関係を知りたければ言語文化学コースの「コア・カリキュラム」を副専攻として取得する。そんな複眼的な学びが視野の広い人材を育てるのです。
*副専攻は卒業証明書にも記載・就職活動でのアピールポイントにもなります。

Point 05 キャリア形成プログラム
入学から卒業・修了まで、金沢大学の学生サポート環境は充実しています。
1年次から行われる導入科目には「大学・社会生活論」情報処理基礎、初學者ゼミなど大学の学びに慣れるための工夫がたくさん。キャリア形成プログラムでは、早くから自分はどうな社会人になるのかということをじっくり考えることで、将来を意識した学びを行うことができます。
資格や免許取得につながる科目群も充実。就職支援室では1対1の進路相談や面接練習などもあり、生協主催の公務員試験対策講座など手厚いサポートを受けることができます。
*たとえば金沢大学の国家公務員II種(行政)合格者は国立大学中1位です。平成18年度。

Point 06 学都金沢との連携
百万石の伝統と、最先端の文化が融合する都市・金沢で、大学生を送ることができるのも大きな魅力。金沢大学には「金沢学」など、地域色たっぷりの科目も用意されています。

「しっかり学びたい」

- アドバイス教員制度
- コースガイダンス
- ポートフォリオシステム
- GPA(成績平均点数制)
- ノートテイカー制度
- 角間ランチョンセミナー
- 双方向遠隔授業システム

「困ったときも安心」

- なんでも相談室
- ピア・サポート・ルーム
- 専任カウンセラー

「留学してみたい」

- 派遣留学プログラム
- TOEIC / TOEFL

「学都金沢で学ぼう」

- 金沢学
- いしかわシティカレッジ

「充実の就職支援」

- 進路相談
- キャリアカウンセラー
- 就職ガイダンス
- 合同企業説明会
- 教員採用試験対策講座
- 公務員試験対策講座
- インターシッピング



漆喰が乾くまでの8時間しか描けないから、フレスコ画は本当に体力勝負ですね。

フィールド文化学コースでは、学校教育学類の美術専攻と一緒にキャンパス内の壁面を利用して、西欧中世・ルネサンス期の伝統的技法に従ったフレスコ画の制作および保存・修復の実験を体験する。



ここがすごい!人間社会学域

多彩な知が生み出す「新領域」

人間社会学域には、日本海側唯一の日本・日本語教育コースと、日本で唯一のフィールド文化学コースがあります。金沢大学の豊かな知は、時代が求める学問領域を形づくります。

地域とともに活性化

市民大学院や地域経済塾、金沢学など、本学域は地域に貢献する様々な講座を支えています。地域は世界の縮図。実践と交流の場として、お互いが活性化していく関係を築いてゆくのです。

個別指導・少人数教育

人間社会学域の専門教育では少人数のゼミ形式が基本。学生と教員の仲がよく、互いが納得いくまで議論を戦わせることができます。他コースの教員も卒論指導に参加。きめ細かな教育が展開します。



1.人文学類 思想・歴史・文化・言語などの研究を通して、人間の思考・創造のあり方を考える。2.法学類 より良い社会の実現のために、法的、政策的な観点から問題の解決策を導き出す。3.経済学類 ビジネスや経済政策、国際経済を通して、人々が豊かに暮らしていくためのあり方を考える。4.学校教育学類 豊かな知識と人間性を育み、子どもの内面に寄り添っている教師を育てる。5.地域創造学類 地域の環境や福祉、健康を見つめ、誰もが安心して生活できる生活基盤をつくる。6.国際学類 国際社会への洞察力と豊かなコミュニケーション能力を育て、異文化理解・共生を考える。

学類&コース

<p>地域が世界につながる瞬間 地域創造学類</p> <p>地域は今、様々な問題を抱えています。その背景を自らの視点で解明し、対策を考えるのが地域創造学類の学びです。地域とは生活の基盤。生まれる問題は、世界で進む問題の「根」であるともいえるのです。地域創造学類では、地域に関する様々な資格も取得可能。地域から世界を見つめる人材を育成します。</p>	<p>異文化を理解し、ともに生きる 国際学類</p> <p>人・物・情報の交流が飛躍的に増大した現代では、交流の対象となる地域を知ることは急務です。外国語の習得を始まりとし、その国の地域に溶け込んだ学びを行う国際学類。そこでは、考え方が異なる文化の理解と共生を目指し、グローバルな世界で活躍できる真の国際人を育てます。</p>	<p>日本で唯一! 人文学類 フィールド文化学コース</p> <p>様々な文化発祥の現場へ赴き、自分の五感を使って調査分析を行うフィールドワーク。その手法を中心に、人類文化の多様性と普遍性を追求する学問が、日本で初めて、ここ人間社会学域に誕生しました。課題発見から解決に至るまで、すべてを自分がマネジメントする。そんな実践的な人材を育成します。</p>	<p>日本を見直し、日本を伝える 国際学類 日本・日本語教育コース</p> <p>国際社会の情勢を知り、外国語コミュニケーション能力を獲得する過程は、他国の視点から日本を見つめ直す新鮮な体験です。それにより、日本に対する深い理解と多角的な知識を獲得。本格的な日本語教師養成カリキュラムを通して、世界の多くの国々で、日本を教える人材を育てるのが、日本・日本語教育コースです。</p>
<p>人文学類</p> <p>心理学コース 人間科学コース フィールド文化学コース 歴史文化学コース 言語文化学コース</p>	<p>法学類</p> <p>公共法政策コース 企業関係法コース 総合法学コース</p>	<p>経済学類</p> <p>経済理論・経済政策コース 経営・情報コース 比較社会経済コース</p>	<p>学校教育学類</p> <p>教育科学コース 教科教育学コース</p>
<p>地域創造学類</p> <p>福祉マネジメントコース 環境共生コース 地域プランニングコース 健康スポーツコース</p>	<p>国際学類</p> <p>国際社会コース 日本・日本語教育コース アジアコース 米英コース ヨーロッパコース</p>		

人間社会学域

多彩が魅力
越境により幅広い人材を育成する

人間社会学域準備室長
久保田 功 教授
KUBOTA Ikuo

「いったいどのような人を育て、どのような教育を提供するのか。文学・法学・経済学・教育学の4学部を基盤とした、人間社会学域へ向けた再編構想は、その問いから始まりました。複雑化する社会からの要請。多様化する学生の関心。それらにこたえるにはどうすればいいのか。人間社会学域の答えは、越境する教育による総合的視野と専門的知識を併せ持った人材の育成でした。たとえば、学校教育学類で社会科教員を志した学生が、もっと専門知識を深めたいと考えたとき、歴史文化学コースを訪ねたり、あるいはフィールド文化学コースで自ら歴史にふれたりすることが可能となります。学域内の自由な越境。それが学生を豊かな学びに導き、多方向で活躍できる人材に育てるのであります。学ぶことで視野が広がり、新たな疑問にぶつかる。人間社会学域は進化してゆく学びをサポートし、自在な探求を可能にします。」



ここがすごい! 理工学域

基礎と応用が融合

新しい技術の多くは、新しい発見をもとに誕生します。世界の謎を解き明かす理学と、それを応用する工学との融合。それは研究者と技術者の交流を活発にし、新技術の誕生を加速させるのです。

新しい研究領域を創造

理工の融合は、これまでにない新しい研究領域を誕生させました。自然をテーマに、その解明から技術応用までをダイレクトに行う自然システム学類を筆頭に、新しい研究分野が次々と生まれていきます。

最先端の研究環境

理工学域の学びの場、自然科学研究科棟は2005年に完成したばかりの新しい建物です。研究設備だけでなくラウンジやリフレッシュルームも充実し、理工学域の教育研究を施設の面からも支えています。



これがコンピュータによって描き出されたカーボンナノチューブの姿です。

目で見てさわって
いろんな使い方が
ひらめますね。

計算科学コースでは、目に見えないものの姿を計算によって描き出す。



1.数物科学類 数学と物理学が自然科学の基礎を支え、論理的思考力とコンピュータシミュレーションで未知の問題に挑む。2.物質化学類 「化学の基本原理の探求」から「化学技術の創造」までを深く広く理解する。3.機械工学類 ナノからロボット、そして宇宙まで、機械に関わるすべての領域を見渡す。4.電子情報学類 IT、電気電子、バイオなど、未来型情報社会を支える技術を、コースの連携で広げる。5.環境デザイン学類 人々の安全で豊かな生活。それを支える社会基盤や都市システム、防災を科学する。6.自然システム学類 地球上のすべてを研究対象とし、理工が手を取り合って、世界の謎を解き明かしていく。

学類&コース

<p>最先端ITと生命科学の融合した電子情報学類 生命情報コース</p> <p>最先端情報技術の設備とスタッフがそろった電子情報学類に設置された「生命情報コース」は、技術発展によりますます膨大になるDNAや遺伝子に関するデータを計算により解析し、その知られざる機能を発見・応用する新しい研究分野です。医薬保健学類とも連携し、より実践的な解析を行うことができる人材を育成します。</p>	<p>コンピュータが生む「第3の科学」 数物科学類 計算科学コース</p> <p>コンピュータの発展に伴ってコンピュータシミュレーション(計算科学)という新しい研究方法が生まれました。数学と物理、そしてプログラミングを駆使し、自然現象や物質の振る舞いの予測など、本来不可視であった世界を再現してゆくことを通し、この新しい分野を様々な応用できる人材を育てます。</p>	<p>数物科学類 数学コース 物理学コース 計算科学コース</p> <p>物質化学類 化学コース 応用化学コース</p> <p>機械工学類 機械システムコース 知能機械コース 人間機械コース エネルギー環境コース</p> <p>電子情報学類 電気電子コース 情報システムコース 生命情報コース</p> <p>環境デザイン学類 土木建設コース 環境・防災コース 都市デザインコース</p>
<p>生物から学び、その機能を生かし、応用する 自然システム学類 バイオ工学コース</p> <p>生物は地球環境の中で様々な物質を細胞内で変換し生命活動を営んでいます。バイオ工学コースは、そのような生物の機能を学び、生かし、そして工学的に応用すること、21世紀の地球・生物の課題を解決することができると期待する研究者・技術者を育成することを目指します。</p>	<p>理工の力を合わせ世界の謎に迫る 自然システム学類</p> <p>自然システム学類は「自然」をキーワードとし、地球とともに在るものすべてを研究対象とする、スケールの大きな学類です。理学と工学の融合という理工学域の特徴が最もよく現れた学類でもあり、自然現象の解明と技術応用を通して、基礎と応用の複眼を持つ創造性豊かな研究者・技術者を育成します。</p>	<p>自然システム学類 生物学コース バイオ工学コース 物質循環工学コース 地球学コース</p>

理工学域

理学と工学の融合が
科学技術の未来をひらく

理工学域準備室長
中尾 慎太郎 教授
NAKAO Shinro



一般に理学は基礎、工学は応用といわれます。それは自然や物質、世界の謎を理学が解き明かし、工学が新たな発明として人々に利用可能な形とするためです。

理工学域とは、これまでは学部として独立して存在していた理学と工学の領域を再編・一体化した学問領域です。これにより、理学的な発見から工学的な応用まで、ダイレクトに繋がった学びと研究が可能となります。

また、理工の基礎を修める最初の一年は、所属する学類の各コースの研究にもふれることができ、将来自分はどうな研究者・技術者になるのか、しっかりと考える時間とすることが出来ます。

基礎の段階で様々な研究に触れておくことで、自分の専門だけで完結することのない、豊かな発想力と、多角的な問題解決能力が育つてゆくのです。

広い視野で基礎と応用を見通す研究者の育成。それを可能とするのが金沢大学の理工学域なのです。



医学類で行われる術前カンファレンスの様子。手術の手順も確実にシミュレーションする。

ここがすごい! 医薬保健学域

医療の全領域を網羅
 医学、薬学、そして保健学。医薬保健学域には医療に対するあらゆる分野のスタッフが在籍し、裾野の広い教育研究が可能です。中でも保健学類は5つの専攻を持ち、保健学の全分野を網羅しています。

源流は江戸時代に
 医学類の歴史は江戸時代、加賀藩種痘所までさかのぼることが出来ます。この長い歴史を背景に、医薬保健学域は地域と強い絆で結ばれ、北陸地域の医療の中核を担っています。

充実した現場実習
 病院を持つ「医薬保健学域では「ふれあいや、思いやりを学ぶこと」から学習を始めてもらおうと、早くから現場実習を実施します。大学病院のほか、80を超す関連病院、20を超える保健所、「アカンサス薬局」なども実習の舞台となります。



1.医学類 他分野のスタッフと連携し、患者さんを中心に考えた、痛みの分かる医師・医学者を育てる。2.薬学類・創薬科学類 薬を通して医療を見つめ、薬剤師として、あるいは研究者として多くの人の健康を考える。3.保健学類 様々な人生の場面に寄り添い、情熱と優しさで、病気の予防と健康の維持を発信する。

学類 & 専攻

医学類(6年制)

薬学類(6年制)

創薬科学類

保健学類

看護学専攻
 放射線技術科学専攻
 検査技術科学専攻
 理学療法科学専攻
 作業療法科学専攻

人間性豊かな全人的医療を目指す
医学類

「医は仁術」という言葉が示す通り、医学に携わる者には高度な技術に加え、他者の立場になって考える豊かな人間性が必須です。このため「生命の神秘との出会い、そして人とのふれあい・思いやりから学ぶ」現場重視の教育を行っています。様々な人とのふれあいを通して、痛みの分かる、人間性豊かな医師・医学者を育てるのです。

薬から幅広く医療を見渡す
薬学類・創薬科学類

薬学の学びには、大きく道が2つ用意されています。薬剤師を目指す6年制の薬学類と、研究者を目指す4年制の創薬科学類です。入試は両学類一括で行われ、進路決定は、基礎薬学にふれ、大学生活で自分を見つめ直してから行います。一般に、医療現場で調剤や服薬指導を行うのが薬剤師、研究室で、新薬を開発するのが研究者です。どちらの道に進んでも変わらないのが「人を救いたい」という気持ち。両学類では、薬の向こうにあたたかな「命」を感じられる薬剤師・研究者を育成します。

保健学の全領域を網羅する
保健学類

たとえば看護師として、あるいは検査技師として、医療が「つちりと支えてきた保健学ですが、近年、新たな役割が生まれてきました。それが「保健」。つまり「健康の維持」です。病気になってからではなく予防を考える次代の医療。保健学類では、医療を支えながらこの新たな役割に全力で取り組む人材を育成します。

医薬保健学域

連携が生むリーダーシップと
 思いやりの全人的医療

山本博 教授
 YAMAMOTO Hiroshi



医薬保健学域は、広い裾野をもつ高い山にたとえられるかもしれません。1862年創立の加賀藩種痘所以来、金沢大学の医系部局とその前身は、わが国医学・医療界のリーダーを輩出してきました。医学、薬学に加え、保健学の全領域をも網羅したこの学域では、学外地域(世界)に張り巡らされた人的ネットワークも背景に、専門性と学際性を兼ね備えた「全人的医療・コメディカル教育」を実施し、次代の医療を担う人材を育成します。

医療行為を行うには国によって認められた資格が必須です。免許なしに行われた場合、刑法上は傷害、民法上は人権の侵害にあたります。これは、医療に携わる者に生涯を通じた学習が求められる法的根拠でもあります。医薬保健学域は、専門教育により資格取得を担保するとともに、将来に亘り日進月歩の医学・医療に対応しうる問題解決型の学力も養成します。

現代の医療現場では「チーム医療」が展開されています。手術を例に見てみますと、執刀医、麻酔医のほか、薬剤師、看護師、放射線技師、検査技師、術後のリハビリを担当する理学療法士・作業療法士と、様々なスタッフが連携して手術および術前・中・後管理に当たります。このような現場では、一人ひとりの能力が高くとも、チームとしての連携することができなければ最高の医療は提供できません。医薬保健学域は、学域共通科目や学類間共通科目により教育資源の共有と人的交流を図り、「最高のチーム医療」ができる人材の育成を目指します。

大学生活を、強く優しく応援

大学生協

食品、参考書、ステーションナリー、帰省や旅行のためのチケットまで、何でもそろるのが生協の購買部。角間キャンパスの学生会館購買部にはパソコン相談コーナーもあり、学生たちから頼りにされています。角間・宝町・鶴間の全キャンパスの大学生協に、食堂・購買・書籍コーナーがあります。

<http://www.kindai-coop.or.jp/>



書籍コーナー：専門書が豊富！

各種相談コーナー：パソコンの急なトラブルにも安心。

石川県の伝統工芸品もあり。多彩な金大オリジナルグッズも販売中！



売店

上)学生会館購買部：売店風景
右)学生会館購買部：金沢大学のお土産



食堂

食堂はカフェテリア形式。食べたいものをトレーにのせます。



サラダバー。みずみずしい野菜がいっぱい。



店員さんとのコミュニケーションも。



小川太志さん(医学部1年)「金沢は優しい人がとても多くて、一人でも生活しやすい所です。」

金大 Cut Studio : キャンパス内には本格的な理髪店も！ほかに郵便局やATMコーナーなど生活に便利な施設がたくさん。



金沢大学は来る価値があるし、そのための勉強にも必ず価値があります。前野寿有さん(教育学部1年)

金沢大学には広くてきれいなキャンパスがあります。私たちの成長の場です！桑本真純さん(教育学部1年)

自然研食堂「フレボ」
公募により「フレボ」と名づけられた自然科学研究科棟の食堂。その目玉は新鮮な野菜たっぷりのサラダバー。栄養が偏りがちな1人暮らしの強い味方です。冬にはおでんも登場！
角間キャンパス南地区 / 月～金曜 10:00～20:00 / 土曜 11:00～13:30

ホッかる弁当
美味しく安く、エコロジー！三拍子そろったホッかる弁当は14種類。レシピ開発には学生も参加しています。食後、弁当箱を返却すれば10円がキャッシュバック。エコロジーにも貢献しています。350円と380円で好評販売中です！
学生会館購買部コンビニ部門 / 角間キャンパス中地区・南地区 / 月～金曜 8:15～20:00 / 土曜 9:00～14:00

あなたの未来をバックアップ 就職支援室



卒業し、社会へ羽ばたく学生を強力にサポートします。エントリーシートや書き方から業界企業研究、面接指導まで、官民間問わず充実のガイダンスを実施。就職相談も随時実施しています。就活関連資料も豊富です。

角間キャンパス北地区・学生会館3F / 月～金曜 9:00～17:00
<http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/work/>

手続きはココにお任せ 学生部学務課



本部棟2階(保健管理センターの上)は学生部。授業料免除、奨学金、サークル活動や学生寮などについて、様々な手続きを担当しています。留学制度についても、このフロアの留学生第一係まで！

角間キャンパス中地区・本部棟2F / 月～金曜 8:30～17:15



職員が親切丁寧に対応します

築300年。大学と地域の交流拠点 創立五十周年記念館 角間の里



創立50周年を記念して、石川県白山市の旧白峰村で、指定有形文化財として保存されていた豪農民家を移築。「角間の里山自然学校」など、金沢大学と地域の交流の拠点として活用されています。

角間キャンパス / 火～土曜 9:00～17:00

ギリシヤより医学の風を運ぶ プラタナス

医聖と呼ばれたヒポクラテス。彼の故郷であるギリシヤ・コス島より送られたプラタナスが宝町・鶴間キャンパスにあります。和名はスズカケノキ。ヒポクラテスはこの木の下で弟子に医の道を説きました。



宝町・鶴間キャンパス 医学部福利施設側

紙でできた、驚きの人体模型！ キンストレーキ

130の部分と1700の細部分より構成されているという分解可能な人体模型。明治2年、長崎よりやってきた日本に4体しかない貴重な資料です。明治後期までの医学教育に重要な役割を果たしました。

宝町・鶴間キャンパス 医学部記念館資料室 / 見学には事前の申し込みが必要



蔵書は176万冊 附属図書館

歴史的価値の高い資料から雑誌まで、幅広いジャンルを有する附属図書館は、地域の方にも利用されています。蔵書はインターネットで検索が可能。中央図書館は土・日曜も開館しています。



【中央図書館】
角間キャンパス北地区
月～金曜 8:45～20:00 / 土・日曜 9:00～17:00
【自然科学系図書館】
角間キャンパス南地区
月～金曜 8:45～20:00 / 土曜 10:00～17:00
【医学図書館】
宝町・鶴間キャンパス
月～金曜 8:30～21:00 / 土曜 10:00～16:00



武田 怜さん(教育学部2年)「金沢大学は環境が良いので、毎日気分よく過ごせます。」

休館日や休暇期間の開館情報はホームページへ <http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/>



様々な文献がそろった中央図書館。静かで自習に最適です。

困った時は“よるまっし” なんでも相談室



履修や就職、人間関係。気になるけれど、ちょっと聞きにくい。そんな悩みや疑問を“なんでも”相談できる場所があります。相談相手も金大生。困ったときは気軽に訪れてください。

角間キャンパス北地区 総合教育棟内 / 月～金曜 10:30～17:00

みんなの心と体の健康を守る 保健管理センター

「ホケカン」の愛称で親しまれる保健管理センター。病気やケガなど、診察や手当てが必要なおときはもちろん、健康に関する相談や、そのほかいろいろな相談ができる、金大生の“癒し空間”です。

角間キャンパス中地区・南地区 / 月～金曜 8:30～17:15
宝町・鶴間キャンパス / 月～金曜 13:00～17:00
<http://hsc.ad.kanazawa-u.ac.jp/hsc/>



新入生は入学後の健康診断でお世話になります。

共通教育科目を学ぶ 総合教育棟



無線LANのアクセスポイントとコンセントがいたるところに。金沢大学はユビキタスキャンパスです。

大学生活最初のステップである共通教育科目を学ぶ場所です。金沢大学の共通教育は、“初學者ゼミ”など大学生活と学びに素早く慣れてもらうための工夫や、ユニークで個性的な講義がいっぱいです。

角間キャンパス北地区

大学と学都金沢の歴史にふれる 金沢大学資料館

加賀藩の藩校であった「明倫堂」の扁額をはじめ、明治20年代に購入された第四高等学校の物理機器など、貴重なコレクションが保存、公開されています。中央図書館1Fとつながっています。

角間キャンパス北地区 / 月～金曜 10:00～16:00
http://web.kanazawa-u.ac.jp/shiryo/top_frame.html



上) かつての最先端装置を発見! 間近でじっくり見ることができます。
下) 歴史ロマンに包まれた空間が広がります。

金沢大学が総力を挙げて取り組む 能登半島地震

— 学術調査・研究の全貌 —

医療支援

医師、看護師をはじめとする
医療の専門家たちが、
被災地の医療現場を支援。

災害時の救急医療は、災害が発生した現場だけでは完結することができない。周辺地域の助けがあつてこそ、被害者を減らすことができる。能登半島地震が発生すると、金沢大学医学部附属病院の医師や看護師らは現地の医師たちと連絡を取り合い、自主的に医療支援に向かった。もちろん、病院としても医療チームを派遣し、医療器具や救護物資の支援を行った。病院だけではなく、医学部保健学科からも、多くの保健学の専門家たちが現地向かったのだ。



専門的な医療チームが、能登を支える！

水道が止まり、輪島市民病院はすでに水不足となり透析を行える状況ではない。チームはすぐに救急車で搬送する手配をした。先生は輪島市だけですべてを完結させるのは不可能だと感じ、金沢市を含む県中央部の助けを借りるように市長に進言する。

翌日には避難所生活がもたらす健康問題に目を向けた。日中にゴロリと寝転がり、動かない老人たちは、仮設のトイレを嫌がり、水分の摂取を控えていた。そして、100人以上が寝起きをともにする環境。血栓症や感染症を発症するのではないか。これらを防ぐため、先生は体操をし、水をしっかりと飲み、こまめに手洗いやうがいをするように訴えた。

金沢大学医学部附属病院には、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チームDMATがある。その日、車を運転中に地震のニュースを聞いた稲葉英夫教授はすぐに附属病院へ。厚生労働省から出動要請が入ると、DMATのメンバーとともに輪島市に向かった。日中から夜にかけて避難所を巡回すると、日が暮れるにつれ寝場所を求めて住民たちが集まり、打撲や火傷を訴える。さらに、「明日、透析予定だ」という人も現れた。

災害派遣医療チームDMATが出動



2007年3月25日、午前9時41分。石川県能登半島沖の日本海でマグニチュード6.9の地震が発生した。最大震度6強の大きな揺れが能登半島を襲い、300人超が死傷、1万5千棟超の家屋が損壊。能登半島が混乱に陥る中、石川県内で唯一の総合大学である金沢大学は動き出した。

地震速報が入ると同時に、まず災害派遣医療チームが準備をスタート。医師たちが大きな被害を受けた輪島市に向かい、救急時の医療支援や避難所の健康管理に当たった。全国の地震学者や土木工学の専門家らが注目する中、理工系の調査グループもいち早く調査を開始。その結果をスピーディにマスメディアやホームページで公表し始めた。さらに報告会や金沢大学サテライト・プラザをはじめ県内3ヶ所で、パネル展を開催し、人々の不安や疑問を解消する一助を担った。

金沢大学では最終的には26グループ、130名以上の教職員が学術調査に参加。様々な専門分野を擁する総合大学としての使命と地域貢献を目指し、今後も根強く能登支援を継続していく。なお、金沢大学ではこれらの学術調査研究、復興活動を支援するため、国からの大型補助金を受けるとともに、大学として経済的支援を行っている。



継続的に医師や薬剤師、看護師を派遣

山上和美看護師は3月29日から30日にかけて、医師、薬剤師、事務職員とともに門前町に点在する避難所10ヶ所を巡回した。診療介助をしながら話をすると、身体の不調を訴える住民たちの多くは不安をかかえ、それが体調にも影響しているのだと感じた。夜になると、冷たい床に毛布を敷いて眠った。夜中に大きな余震や雷雨があり、浅い眠りから何度も目覚めた。二次災害の予兆と感じ、住民の方々の心痛が察せられた。水道が機能していない現地で汚水を出すわけにはいかないと、顔も洗わず、歯磨きも困難であった。金沢大学はその後も附属病院や医学部保健学科等が継続的に医療従事者を派遣し続けている。

研究・調査・活動記録

(2007年3月6日)

3/25

午前9時41分、能登半島地震が発生

○災害派遣医療チームDMATが出動
○石渡明教授(地質学専門)、北浦勝教授(地震防災工学専門)をはじめとする理工の専門家たちが調査を開始

3/26

○学内及び学外への対応窓口を一本化し、情報収集及び連絡調整を行うために「金沢大学能登半島地震対策本部」を設置
○平松良浩准教授(地震学専門)のグループが地震計を輪島市内3ヶ所に設置、余震観測を行う

○能登有料道路復旧検討委員会委員より依頼があり、鳥居和之教授(土木工学専門)、国土交通省道路防災(トクター)が能登の橋梁、トンネルなどの診断および補強対策を提言

3/27

○医学部学生らが医療支援に参加
○心の健康センターより依頼を受け、神経科精神科の医師を派遣
○石渡教授、平松准教授らから成る「地震断層研究班」が能登半島地震を引き起こしたとみられる断層の一部を発見

3/29

○医師、薬剤師、看護師、事務からなる医療チームが血圧降下剤や風邪薬などの薬品を持参し、避難所を巡回

○宮島昌克教授(地震工学専門)が、東京都で行われた土木学会 地盤工学会で現地調査の結果を報告

4/3

○文部科学省が、能登半島地震の余震の正確な分布や地殻変動の調査研究に対して、科学研究費補助金を交付。東京大学が代表となり、金沢大学からは宮島教授、平松准教授がプロジェクトに参加

○石川県教育委員会からの要請に基づき、輪島市と穴水町の小・中学校の教員研修会に臨床心理士2名を派遣
○加藤道雄教授(古生物学専門)、神谷隆宏教授(古生物学専門)、学生たちが志賀町関野鼻の隆起を確認
○医療チーム14名を派遣

4/4

○石川県看護協会を通じ、看護師2名を派遣

4/5

○個別の学術調査等を把握し、総合大学としての機能を活かして、今後の調査・研究を推進するとともに、復興及び防災に生かすための提言等を行っていくため、「金沢大学能登半島地震学術調査部会」を設置

4/11

○石川県健康福祉部健康推進課と連携して、看護科学領域の助教、講師、大学院生らが避難所支援にあたる

4/21

○学術調査の結果を広く公表するため、金沢大学サテライト・プラザにて「金沢大学能登半島地震学術調査部会報告会」を開催。市民の皆さんや本学の教職員、学生など合わせて170名以上が参加

4/24

○宮島教授、平松准教授が東京都で行われた2007年能登半島地震災害調査速報会(主催：土木学会、地盤工学会、日本地震工学会、日本建築学会、日本地震学会)で現地調査の結果を報告

4/27

○「能登半島地震パネル展 メカニズムと被害」を金沢大学サテライト・プラザで開催。5/14からは角間キャンパスにて、6/1からは石川県庁にて開催

6/7

○田崎和江教授(地球環境科学専門)が七尾市中島町の貯水池の性質変化を調査

6/16

○ミニ講演「災害に対する意識・避難行動と地域環境や防災への理解、関心醸成」を開催。「防災班」の林紀代准教授(人文地理学専門)と青木賢人准教授(自然地理学専門)が、能登半島地震の被災経験について輪島市、志賀町の中学生とその家族を対象に行っているアンケート調査の途中経過を報告

調査研究

あらゆる領域から
能登半島地震にアプローチ。
その全貌を解き明かし、
復興と再生に貢献したい。

能登半島で何が起ったのか？
その原因は何なのか？そして人々の生活に対する影響はどのようなものなのか？今後どういった問題が起こるのだろうか？金沢大学の専門家たちは、地震発生後すぐに現地へ向かった。様々な問題に対処するためには、あらゆる領域からのアプローチが必要である。金沢大学は総合大学という特性を生かし、地震学、地震工学、地質学といった理工系の領域だけでなく、医学、保健学、薬学といった医療の領域、そして人文科学や社会科学などの文系の領域からも研究者を結集し、総合的な学術調査研究に取り組んでいる。その成果は、能登半島地震の復興や地域再生だけでなく、今後世界のあらゆる場所で起こりうる震災への対策に生かされることを期待している。



住民の生活に及ぼす影響は？

地震発生から数日後、住民から海岸の様子がおかしいという報告が寄せられるようになった。自然科学研究科・加藤道雄教授と神谷隆宏教授が調査をすると、志賀町関野鼻周辺で35センチ隆起、門前町では海岸が約50センチ隆起していることが確認された。これにより、この地点を航路としていた船は行き来できなくなり、海藻が干上がるなど漁業への影響が出始めている。

地震防災工学を専門とする自然科学研究科・北浦勝教授と村田晶助教は、建物の損壊を調査し、被害がその地点の揺れの強さだけではなく、建物そのものの強度にも左右されることを突き止めた。そして、余震による被害を懸念し、傾いた家の危険度判定を急ぐ必要性を指摘した。

復興が進むにつれ、問題となってきたのが大量のゴミである。自然科学研究科・池本良子教授は、早くから災害廃棄物の発生状況を調査し、「一般廃棄物の収集後の分別は危険が伴うことから注意が必要」海岸地域が廃棄物の仮置場になっているため、今後、腐敗等による環境影響が懸念される」など様々な課題を提示した。

高度な学術調査研究で、能登を支える！

能登半島で何が起ったのか？

自然科学研究科・石渡明教授は、地震発生日の午後から現地調査に乗り出した。翌日には通信社のヘリに同乗し、海岸の斜面崩壊や家屋・道路被害を空から視察。広範な能登半島のどこに被害が集中しているのかを特定した。

翌々日には、石渡先生が自然科学研究科・平松良浩教授とともに組織する「地震断層研究班」が、能登半島地震を引き起こしたとみられる断層の一部を輪島市門前町で発見した。さらに、3日間に渡り、能登半島の寺院や墓地35ヶ所、墓石の転倒率を計測。この調査は、どこがどれくらい強い揺れで揺れたのかを示すのに役立つ指標である。

これらの調査から、輪島市門前町で発見された断層の上とその延長上、そしてその南側で揺れが強く、特に震源に近い西海岸が強い揺れに襲われたことが分かったのである。そして、地震学を専門とする平松先生が地震波や地殻変動を解析。今回の地震を引き起こした断層が、西北西―東南東方向の圧縮力により、右横スレを伴う逆断層型の運動を起こしたことを明らかにした。

地域の再生と復興に向けて

過疎・超高齢化地域で発生した能登半島地震。金沢大学は、単なる復旧に留まらず、人々が生まれ育った地に安心して住み続けられる地域への再生・復興を目指す必要があることから、人文科学、社会科学や医学領域の視点からの調査研究を開始した。これらの領域からの調査研究はこれまであまり例がなく、今後予測される多くの過疎・高齢化地域での地震災害に対する対策や復興、そして地域の再生へのモデルとなることが期待されている。

さまざまな分野からのサポートに感謝。

石川県危機管理監
次長兼危機対策課長 荒川隆男さん

今回の能登半島地震では、金沢大学から被災地での医療活動や心のケアのための医師・看護師等の派遣、地震発生メカニズム解明のための専門研究者による調査、さらには多くの学生・教職員が災害ボランティア等の活動へご参加いただきました。ご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

被災地も本格的な復旧、復興に向けて着実に歩み始めております。今後ともさまざまな面から金沢大学のご協力を賜うことができれば幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。



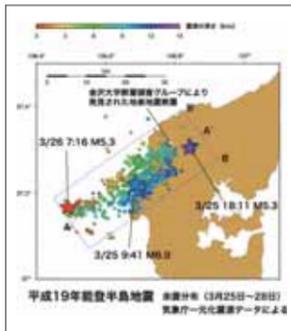
石川県能登半島地震 災害対策本部



地震は能登半島をどのように変えたのか？

地震によって、能登半島の地形は大きく変化した。地震工学を専門とする自然科学研究科・宮島昌克教授は、小説「ゼロの焦点」の舞台となった敵門、ヤセの断崖をはじめとする断崖や斜面の崩壊、そして地盤の液状化、能登有料道路の崩落を調査し、検討課題を次々と提言していった。

地震は、能登半島の水質までも変化させた。自然科学研究科・田崎和江教授は、能登半島の人々が水道の他に井戸水、湧き水、山水を生活水として使っていることに着目した。これらの水が白色、灰色、茶色の濁りを生じたため、pH値を測定すると、一部で中性から酸性やアルカリ性に変化していたのである。



多くの学生と教職員が災害ボランティアに参加。



ボランティアに参加した教職員と学生。右から2人目が吉田さん。

ボランティア活動を通じて、地域コミュニティの大切さを学ぶ。

吉田真さん(理学部2年)

私は2004年の福井豪雨を体験し、祖父の家が水浸しになったときにボランティアの人に助けられました。そのため、社会貢献室から呼びかけがあったとき、すぐにボランティアに参加することにしました。輪島市門前町では道はボコボコで、家の中は土壁が崩れ、タンスも何もかも傾いていて、ニュースで見たりもひどい状況でした。私たちは「要注意」と書かれた黄色い紙の貼られた家で、倒れた家具を起し、床に散乱するものを必要なものと不要なものに分ける作業をしました。作業をしていると、近所の人たちが次々に様子を見に来て、地域をつなぐの強さとその大切さを感じました。輪島市のことをほとんど知らなかったのが、住民の方とあまり会話できなかったことが心残りです。もし今後もこのような機会があれば、積極的に話し相手になり、精神的にもサポートしたいと思っております。

金沢大学が総力をあげて、今、解き明かす、能登半島地震のメカニズムと被害 能登半島地震パネル展

金沢大学が学術調査を進めた結果を広く伝えるため、4月27日より金沢大学サテライト・プラザにてパネル展を開催。初日には、平松准教授が来場された方に直接説明をし、質問にも答えました。5月14日からは角間キャンパス、6月1日からは石川県庁に会場を移し、多くの方にご来場いただきました。

元気宣言、能登能登は今、復興に向けてがんばっています！



4月下旬には能登有料道路が全線開通。「祭りの宝庫」であり、四季を通じて美しい自然と豊かな文化が体感できる能登半島を応援しましょう。

[観光情報]ほっと石川旅ネット
<http://www.hot-ishikawa.jp/>





リーグ昇格への夢に向かって、 今日も走る！ アメリカンフットボール部

北陸リーグ13連覇中の金沢大アメフト部が目指すのは、「関西一部リーグへの昇格」だ。今年も多くの新入生が入部した。彼らのほとんどが未経験者だが、ルールを覚え、ポジションを選び、基本的な動きをマスターすると、早くも7月頃には試合に出る。4年間で驚くほど成長する部員たち。卒業後に社会人リーグで活躍する先輩(鹿島ベアーズ所属・加藤公基さん)もいる。名門校に比べると、経験者も部員数も少ないなど不利な点は多いが、主将・小島匠さん(工学部4年)は「練習の質や

内容、目標への意識の高さで差をつけたい」と意気込む。主将になるまでは、自分の技術を磨くことに夢中だったが、今は自分のことを考える余裕はなく、チームのことだけを考えているという。後輩の福田見さん(教育学部3年)は、「小島さんは誰よりも声を出してチームを盛り上げてくれます。大変なことがあってもそれを顔に出さない、頼れる先輩」と評する。「このメンバーで今年こそ昇格を果たしたい」。小島さんと部員たちの挑戦が始まった。

アメリカンフットボール部の活躍はここで！

●北陸リーグ戦
日時:2007年9月～11月 場所:金沢市営球技場ほか

<http://evergreen07.web.fc2.com/>

サークル紹介

ここには汗と涙とドラマがある！ 熱いスポーツ特集

現在、金沢大学には、文化系サークルが40、体育系サークルが41あり、2,500名以上の学生が所属しています。
http://www.ad.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakusei/student/club/

チームワークで、勝利をつかみとれ！ 水泳部

自己記録を更新するため、一人ひとりが孤独に泳ぎを追求する個人競技・水泳。しかし、金沢大水泳部はチームとして戦っている。彼らの目標は「自己ベストを出すこと」、そして「中部国公立学生選手権の優勝」だ。選手全員がそれぞれに自己ベストを更新して入賞を果たし、リレーで勝利することが、チームの勝利につながるのだ。

練習はレベルや種目に応じたチームごとに行い、先輩が後輩をしっかりと指導する。ほぼ初心者で入部した岩崎純衣さん(文学部3年)は、5ヵ月後には伝統行事1600メートル個人メドレーを完泳、2年経った今では練習のプログラムを組み、後輩の指導に当たっているほどだ。高校時代に第一線で活

躍しながらも、水泳に対する情熱を失いかけていた小川さやかさん(教育学部3年)は、チームメンバーに感化され、再び熱い気持ちを取り戻した。「大会では、部員が出場するレースは全員で応援するので、チームの連帯感を感じます」。水の中まで届くスタンドからの声援に押され、選手たちは力の限り泳ぎきる。



水泳部の活躍はここで！

●全国国公立大学選手権水泳競技大会
日時:2007年8月8-9日
場所:神戸市立ポートアイランドスポーツセンター
●日本学生選手権水泳競技大会
日時:2007年9月7-8-9日
場所:東京辰巳国際競泳場

<http://www2.bbweb-arena.com/kust56/>



金沢大学大学院 自然科学研究科 博士課程
第47次南極地域観測隊 隊員
尾崎 光紀
OZAKI Mitsunori
第47次南極地域観測隊に参加し、14ヶ月間を昭和基地で過ごした尾崎光紀さん。氷と雪の大陸・南極。昭和基地でこれまで観測された最低気温はマイナス45.3℃という。そんな極寒の地に行くという夢を実現させた尾崎さんに話を聞いた。

壮大な夢と出会い、金沢大学へ
「南極に行きたい」。そんな夢を抱いて、尾崎さんは金沢大学へ編入した。その夢は、恩師である長野勇教授と出会い、実現へと近づいていく。先生の下で電磁波工学の研究に励んでいくと、観測隊が一般の公募を開始したという情報を得る。しかし、研究者としての参加は博士課程修了者に限られていた。「でも、長野先生は国立極地研究所に掛け合い、自分が南極に行けるように手を尽くしてくれました」。それに応えるべく、尾崎さんは研究の知識を示し、厳しい選考を経て、南極行きの切符を掴み取った。

世界で一番きれいな空

想像もできない南極での生活。どれくらい寒いのか？どんな場所で眠るのか？さまざまな心配はすべて杞憂に終わった。昭和基地内は暖かく、インターネットは常時接続。日本への電話も気軽にかけられた。基地の外には、おおらかな地球を抱かれるような、神秘的で美しい自然がどこまでも広がる。「特に空が印象深く、澄み切った青い空をどれだけ見ても飽きませんでした」。

不安を乗り越えて

観測隊に参加することはプロの研究者になること。尾崎さんには、南極でしか観測できない微弱な電磁波を観測し、その電磁波がどこからやってきたのか、発生領域がどのように変動するのかが研究するという役割があった。

観測機は自身の手作り。金沢大学の研究室で入念なテストを行ったが、果たしてこの極寒の地で動くのか？期間内、故障せずに動き続けてくれるのか？「僕はこの観測のために南極にやって来たので、絶対に成功させたかったんです」。そのため、今も思い出しただけでも味わったという。思いが届いたのか、実験は無事成功。データは準リアルタイムで次々に金沢大学に送られた。このデータ伝送は南極観測隊史上初の成功となった。

たくさんの人に南極の魅力を伝えたい

「自分が南極に行けたのは、たくさんの方が助けてくれたから」。そう思った尾崎さんは、南極での生活を伝えるため、ブログを開発。南極での生き生きとした日常をリアルタイムで届けた。また、全国各地で行われた南極教室*にも参加し、回線をおして子どもたちに南極の魅力を伝えた。

夢をかなえた尾崎さん。「自分がどういう人間になりたいのか。何のために大学に来ているのか。目的意識を持つてください」。そう、後輩へメッセージを送る。「何かを成そうとする人を、金沢大学は全力でサポートしてくれます。まずは、その何かを見つけてください」。尾崎さんの次なる、何かは、南極から届いたデータの解析。かなった夢は、次の夢へとつながってゆく。

※南極教室
インターネットや電話回線で昭和基地と日本をリアルタイムでつなぎ、観測隊員と子どもたちが交流する。金沢大学での模様はこちらから。
http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/nankyoku/top.html



尾崎光紀さん プロフィール

1981年生まれ。福井県出身。福井工業高等専門学校で第40次南極地域観測隊員の前川公男教授に出会い、南極に行くという夢を抱く。金沢大学大学院修士課程在学中に第47次南極地域観測隊に選ばれ、2005年12月から2007年2月まで昭和基地に滞在。現在は博士課程に在籍し、研究を続けている。尾崎さんが南極生活を綴ったブログはこちら。
<http://reg.is.t.kanazawa-u.ac.jp/~ozaki/blog/>



金沢大学同窓会情報

Alumni association information

卒業学部を超え、日本各地で交流が進む

平成18年8月に金沢大学同窓会連絡協議会が設立されて以降、各地区や職域(事業所)では卒業学部を超えて、卒業生の交流が活発化しています。

活動報告

Activity report

3/30 「北斗寮同窓会北斗会」から記念樹の寄贈を受け、角間キャンパスで植樹式を行った。



4/14 金沢大学北斗寮広坂舎(昭和39年7月〜昭和42年6月)に在寮した方々を中心に「広坂北斗寮同窓会」が結成され、金沢で総会と懇親会(参加者42名)が開催された。

これまで東京四高会が開催していた月例会を、金沢大学の有志でつくる「北の都会」が引き継ぎ、「北の都会」月例会と改称しました。毎月1回、銀座で開催される本会は、この7月で652回を数えます。
1000回開催を目標に、四高と金沢大学、合計240名の会員が頑張っています。ぜひ東京でのサロンとして活用してください。皆様の参加を歓迎します。

5/22 職域(事業所)の同窓会として、「北國新聞グループ金沢大学同窓会」が結成され、金沢で創立総会並びに新入社員歓迎会が開催された。
※その他、職域(事業所)同窓会としては、本年1月27日に「北國銀行同窓会」、2月3日に「北陸銀行卒業生の会」が結成された。

5/25 同窓会連絡協議会の第3回幹事会を開催。ホームカミングデーの企画や会員名簿の整備促進について、協議が行われた。



6/6 「北の都会」(1月10日に東京四高会と金沢大学東京OBが合流)の大会並びに第650回月例会が過去最高参加者(105名)のもと開催された。



6/9 「法・経・文同窓会名古屋支部」が総会と懇親会を開催。

先輩&後輩が待っています！
どうぞ、ご参加ください！

- 今後の活動スケジュール
- 8/7 9/5 10/4 11/7 12/5 「北の都会」月例会
- 10/19 同窓会連絡協議会 第4回幹事会 ※関係者のみ
- 11/3 ホームカミングデー (金大祭にあわせて実施)

○平成19年度同窓会に関する課題と取り組み

- ―活動強化の一環として―
- 同窓会連絡協議会幹事会の開催(年2回〜3回)
- 単位同窓会への援助・相互交流
- 事務局体制整備の検討
- ホームカミングデー等の学長(大学)主催行事の開催
- 地区・職域(事業所)・寮、サークル等の同窓会結成支援
- 医学部創立五十周年記念事業への協力
- 連絡協議会ニュースの発行継続

同窓会の人的ネットワークを活用し、有意義な人生を

[金沢大学同窓会連絡協議会]

歴史と伝統があり、総合大学でもある金沢大学は、多方面で活躍する多くの卒業生を輩出しています。そのため、同窓会では質の高い人的ネットワークと有意義な出会いの機会が得られます。卒業後も、「同窓生」という形で、大学生生活の思い出を育むことが期待されています。



同窓会や後援会、卒業・成績証明書の取得手続きのほか、学びたい人を応援する各種セミナーの案内など、卒業生のための情報がいっぱいです。

〔事務局〕金沢大学総務部
〒920-1192 石川県金沢市角間町
TEL:076-264-6196 FAX:076-234-4014
E-mail now@kanazawa-u.ac.jp

URL : <http://www.kanazawa-u.ac.jp/internal/graduate/index.html>

Alumni association

[金沢大学同窓会]

- 法・経・文同窓会 TEL(076)264-1667 (同窓会事務局)
- 教育学部同窓会 TEL(076)264-6196 (同窓会連絡協議会事務局 兼付)
- 理学部同窓会連絡会 TEL(076)221-2061 (金沢子ども科学財団 兼付)
- 医学部十全同窓会 TEL(076)265-2131
- 医学部保健学科 つるま同窓会 TEL(076)265-2504
- 薬学同窓会 TEL(076)234-4411
- 金沢工業会 TEL(076)264-0482
- 四高同窓会 TEL(076)262-5464 (石川近代文学館内)

DATA NOTE

受賞

4月 榎本啓士准教授と西村栄美教授が「平成19年度科学技術分野の文部科学大臣表彰」を受賞

大学院自然科学研究科の榎本啓士准教授は、全日本学生フォーミュラ活動および自動車工学の普及啓発が評価され、科学技術賞(理解増進部門)を受賞。また、がん研究所の西村栄美教授は色素幹細胞の維持とニッチおよび白髪の研究が評価され、若手科学者賞を受賞しました。

6月 安藤敏夫教授が「第5回産学官連携功労者表彰」を受賞

大学院自然科学研究科の安藤敏夫教授は「高速原子間力顕微鏡」の開発を評価され、オリンパス株式会社、有限会社金沢大学ティ・エル・オーとともに「第5回産学官連携功労者表彰」日本学術会議会長賞を受賞しました。この顕微鏡は、水溶液中で動くたんぱく質分子やDNAを映像として捉えることに世界で初めて成功し、生命科学の研究手法を将来一変できる革新的なものです。

研究・教育業績

4月 文部科学省「大学教育の国際化推進プログラム」に採択

「海外先進教育実践支援」に外国語教育研究センターの矢淵孝良教授が実施する「交渉能力の向上を実現する英語教育法の開発」に、英語教育の融合を目標として「」が採択されました。また、「海外先進研究実践支援」に「金沢大学の国際戦略に基づく研究者派遣事業―地域と世界に開かれた大学」を目指す先導的若手研究者育成「」が採択されました。

5月 文部科学省「科学技術振興調整費」に2件が採択

「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」プログラムに「新領域創成をめざす若手研究者育成特任制度」が、「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムに「能登里山マイスター」養成プログラムが採択されました。

文部科学省「英語指導力開発ワークショップ」事業に採択

外国語教育研究センターが担当する「英語使用空間をのりきる発想法とネゴシエーション能力の開発」が実施主体に採択されました。

6月 科学誌「Nature」に論文掲載

大学院自然科学研究科の辻彰教授、加藤将夫准教授、久保義行助教の研

科学研究費補助金

研究グループは、群馬大学学生体調節研究所の原田彰宏教授らのグループと共同で、細胞のカチオン作りに重要なRab8の機能と重篤な栄養吸収障害性疾患との関わりを解析し、科学誌「Nature」(6月28日電子版)に論文が掲載されました。

平成19年度科学研究費補助金採択件数ランキング16位

平成19年度科学研究費補助金(新規採択+継続分)における採択件数ランキング

機関名	採択件数
1 東京大学	2,797
2 京都大学	2,290
3 東北大学	1,932
4 大阪大学	1,863
5 九州大学	1,443
6 北海道大学	1,395
7 名古屋大学	1,282
8 筑波大学	954
9 広島大学	840
10 東京工業大学	763
11 神戸大学	743
12 慶應義塾大学	658
13 岡山大学	615
14 千葉大学	575
15 理化学研究所	570
16 金沢大学	539
17 早稲田大学	534
18 熊本大学	421
19 新潟大学	410
20 東京医科歯科大学	400

(文部科学省研究振興局学術研究助成課)

公務員試験

平成19年度 国家公務員採用I種試験合格者19名

平成19年度の合格者数は19名(昨年度8名)、行政・法律・経済区分では12名(昨年度3名)です。順位は17位(昨年度27位)、国立大学のみでは12位となりました。本年度は近年にない合格者数となり金沢大学学生の本領を発揮しました。

平成19年度国家公務員採用I種試験出身大学別合格者数一覧

大学名	19年度合格者数
1 東京大学	437
2 京都大学	174
3 早稲田大学	85
4 東北大学	74
5 慶應義塾大学	72
6 九州大学	61
7 北海道大学	58
8 大阪大学	46
9 東京工業大学	36
10 中央大学	35
11 一橋大学	34
12 東京理科大学	32
13 立命館大学	31
14 筑波大学	28
15 東京農工大学	23
16 神戸大学	23
17 金沢大学	19
18 名古屋大学	19
19 岡山大学	16
20 広島大学	14

(人事院資料)

NEWS & TOPICS 金大のいまがわかる

[ニュース&トピックス]

金沢大学のニュース&トピックスおよびイベント情報は、[金沢大学ホームページ](http://www.kanazawa-u.ac.jp/)でご覧いただけます。
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/>

April 4月

4/7 平成19年度入学宣誓式を挙
 行
 学部1797名、専攻科・別科49名、編
 入学100名、大学院838名が入学し
 ました。

4/13 ニューヨーク州立大学
 バッファロー校の学長一行が
 来学



4/19 第58回金沢大学暁烏記念式・
 記念講演を開催

4/21 能登半島地震学術調査部会
 第1回報告会を開催

これまでの学術調査研究の報告や将来
 の復興、防災に役立つ情報などの提供を目的
 に開催。本学の教職員や学生、市民の皆

5/29 ソフトテニス部が優勝

第50回北信越学生ソフトテニス大学対
 抗リーグ戦・女子1部で全勝優勝を果たし
 ました。

5/29 薬学部薬用植物園の
 観察会を開催

3年前から植栽を始めたシャクヤク(根
 が漢方で、肝や血分の病的な熱を解する薬
 物)の開花に合わせ、5月29日か
 ら3日間、観察会
 を催し、学内外か
 ら約170名の方
 が来園されま
 した。



5/29 附属幼稚園で
 めいぐるみ病院を実施

幼児の健康教育を目的として、本学医療
 系サークル「KURE(きゅあ)」が附属幼
 稚園の年長児を対象として毎年行ってい
 るものです。園児が家から持ってきたぬい
 ぐるみを患者として診察し、その診察体験
 を通じて健康について知ってもらうとい
 う活動です。



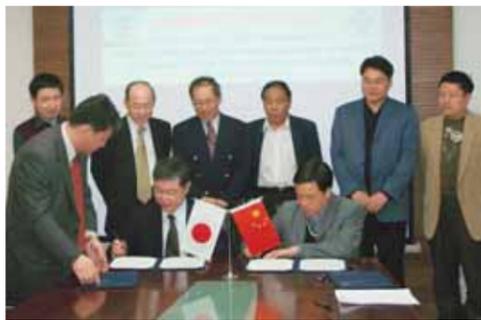
5/31 名誉教授称号記授与式を挙
 行

4月1日付けで新たに名誉教授となっ
 た15名へ称号記が授与されました。

さんなど合わせて170名以上が参加し
 ました。
 また、被害が大きかった石川県輪島市の
 避難所と児童館で「猿回し」の慰問ボラ
 ティアを行いました。



4/24 環日本海環境研究センター
 が中国科学院大気物理研究所
 の大気科学及び地球流体力学
 数値モデリング国家重点研究
 所と部局間交流協定を締結、
 研究分室を開設



June 6月

6/9 NHK大学セミナーを開催

三宅民夫アナウンサーを講師に、舞台
 裏から見た放送「ニュース、番組、そして
 「紅白」と題し、講演が行われました。



6/14 附属小学校で
 「附属宇宙プロジェクト」を
 実施

6年生36人が金沢の特産食材を使った
 宇宙食を考案します。

6/16 平成19年度合同慰霊祭を挙
 行

6/17 バスケットボール部が
 男女ともに優勝

第14回石川県学生バスケットボール選
 手権で、男女とも優勝を果たしました。

6/20 アメリカ・プリンストン大学等
 との交流会を実施

5/10 平成18年度重点研究経費
 5/16 研究成果報告会を開催

5/11 第6回北陸地域アイソトープ
 研究フォーラムを開催

5/12 「ふれあい看護体験・親子で
 参加」に親子2組5人が参加

富田医学部附属病院長より「一日看護師」
 として辞令が交付された後、病棟において
 血圧や脈を測る看護業務を体験しました。



5/12 健寿会定期総会・懇親会を開催

健寿会は教員を除く金沢大学の退職者
 で組織され、会員数は約400名。当日は
 大学からの出席者も含め、約100名が参
 加しました。

5/17 外国人留学生と学長の
 懇談会を開催

学生の声を直接聞くことによって、今後
 の教育改革や学生支援、さらには大学の運
 営に役立てることを目的として、昨年12月

May 5月

の学部学生に続き開催され、6月1日には
 大学院生との懇談会が開催されました。



5/19 学長研究奨励費
 研究結果発表会を開催

学長研究奨励費は学部学生の優れた研
 究を奨励するための制度で、研究テーマは
 自由、個人でもグループでも参加できま
 す。平成18年度に採択された17件の学生
 が、研究を発表しました。

5/21 町村信孝氏(衆議院議員、
 前外務大臣、元文部科学大臣)が
 来学

町村信孝衆議院議員が本学を訪問され、
 「ランチオンセミナー特別講演」及び「特別
 講演会」の講師として本学の学生や教職員
 に講演を行いました。



5/24 能登半島地震の義援金を
 石川県に手渡しました

July 7月

7/7 金沢大学「人間社会学域」
 創設記念シンポジウムを
 開催

新たに誕生する地域創造学類と国際学
 類がめざす教育と研究を議論し、これら
 の大学に求められる社会貢献に果たす役
 割について検討を加えるため、「進化す
 る金沢大学の社会貢献」と題し、開催しまし
 ました。

7/12 学長研究奨励費交付式

15の個人・グループに授与されました。



7/13 能登里山マイスター
 地域づくり連携協定を締結

「能登里山マイスター」養成プログラ
 ム」が起動するのを機に、金沢大学、石川
 県立大学、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町で
 「地域づくり連携協定」を締結しました。

7/28 第1回北陸オンコロジ
 ーフォーラムを開催